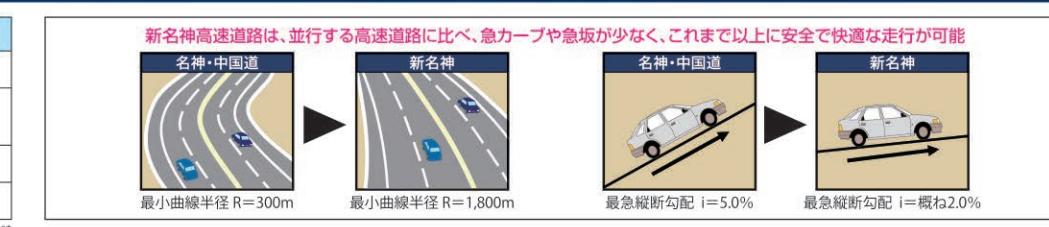
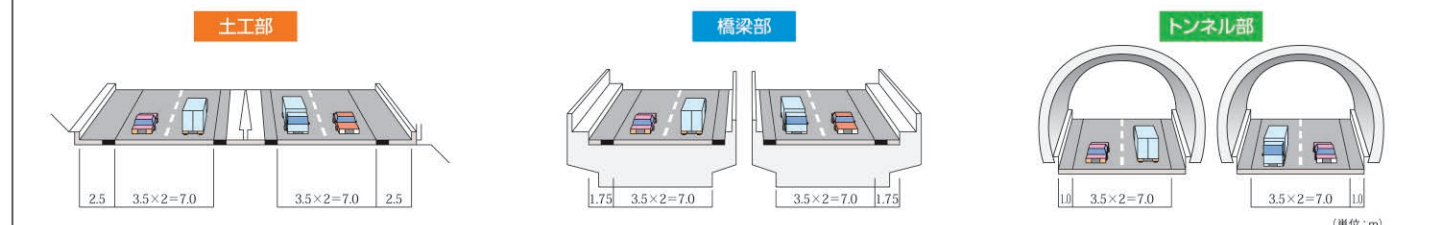


新名神の道路諸元(大津JCT(仮称)～神戸JCT)

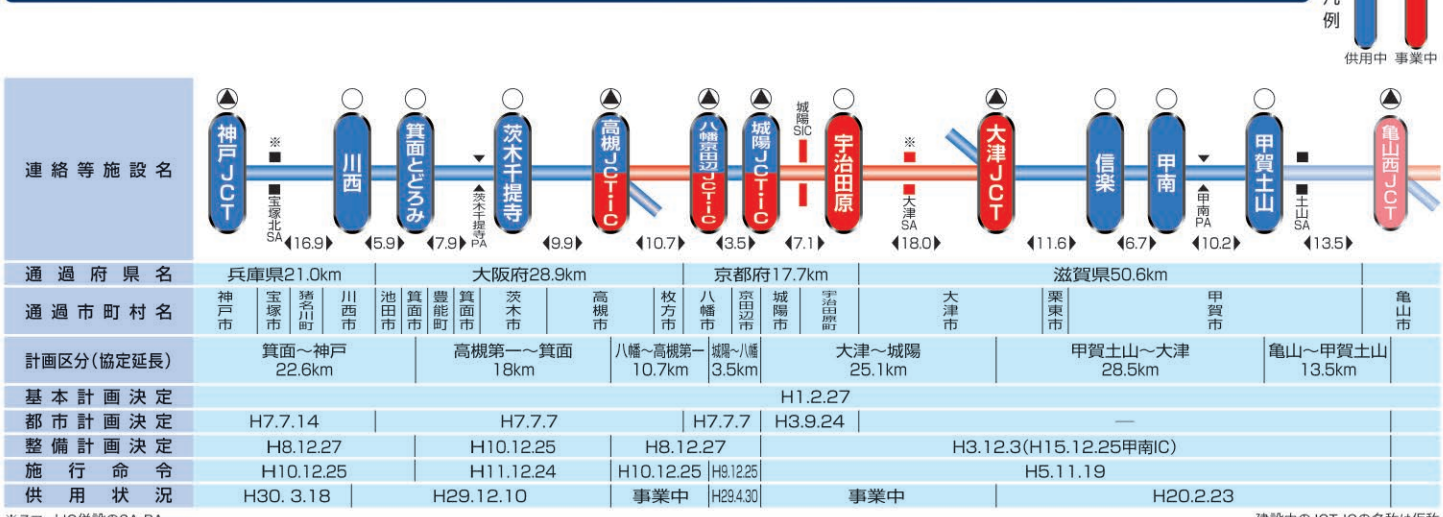
項目	本線
延長	79.9km
道路規格	第1種第1級 (第1種第2級)
設計速度(km/h)	120(100)
車線数	6車線(4車線)



■新名神の標準横断構成



新名神高速道路の概要



関西の高規格道路網図



西日本高速道路株式会社 関西支社
 〒567-0871
 大阪府茨木市岩倉町1-13
 TEL.06-6344-8888(代表)

新名神高速道路

大津JCT(仮称)～神戸JCT

未来につなぐ信頼の道



事業目的

現在、私たちが利用している名神・東名高速道路は、昭和44年の全線開通以来、関西圏、中部圏、首都圏を結び基幹的な役割を果たす高速道路として、我が国の産業・経済・文化の急速な発展に多くの貢献をしてきました。しかしながら、現在は交通量の増加による交通混雑が頻発に発生しています。また、巨大な産業・経済のほとんどが自動車交通に依存しているため、それを支える役割が断絶した場合、国民生活への影響は壊滅的といえる状況になると予想されます。

新名神高速道路に求められる役割

大都市間の連携強化～慢性化する渋滞～

●新名神 高槻JCT-IC～神戸JCTの開通により、中国道の渋滞が大幅に減少しましたが、高槻JCT-ICでは引き続き渋滞が発生しています。新名神高速道路が開通することにより、交通が分散され、渋滞が緩和し、高いサービスレベルの確保が可能となります。



災害時にも機能するネットワークを確保

●日本の大動脈である、名神・中国道には代替路が無い状況。もし、大規模な災害等で通行止め等が発生した場合であっても、新名神高速道路があれば代替路となりバックアップ機能を発揮します。



新名神事業への取り組み

チャレンジ新名神 ～「新世代の高速道路」を目指して～

NEXCO西日本は、新名神高速道路の建設において、これまでつちかわれた英知を結集し、新新かつ大きな発想で、地域と連携・共生した、100年先にも誇れる「新世代の高速道路」を目指します。

道路サービスを間断なく提供し続けることが最大の使命

